テクニカル指標を表示させるには? MATRIX TRADER

チャート画面に様々なテクニカル指標を表示させることができます。テクニカル指標とは、 過去の価格や時間をある計算式に当てはめて、今後の価格や相場の方向を予測するものとして利用されています。



①チャート画面左側上から3段目の折れ線グラフマークのアイコンをクリックします。



▶

②【テクニカル設定】画面が表示されました。



▶

③チャートの上には以下のテクニカル指標を表示させることができます。



テクニカル指標を表示させるには?

Þ

④下部テクニカルとして、ローソク足チャートの下にテクニカル指標を最大8つまで表示させることができます。 下部テクニカルで表示可能なテクニカル指標は以下の通りです。



D.

■ローソク足チャートの上に【単純移動平均】、下部テクニカル1に【MACD】を表示します。 ①単純移動平均にチェックを入れます。

100 100 100	チャート:USD/JPY 5分足		🏶 🧭 🖛 🗆 🗙
_	USD/JPY - 5分足 - ローソ	テクニカル設定	×
回日調を図り	2016/08/18 14:35 始值:99.931 11:00 12:00	設定	常線 〜 1pt ――― 〜 常線 〜 1pt ――― 〜 常線 〜 1pt ――― 〜
		□ スパンモデル □ スーパーボリンジャー □ HLバンド □ 下部テクニカル1 ④ 表示しない ○ ストキャスティクス ○ RSI(相対力指数) ○ 乖離率(1.0基準) ○ サイコロジカルライン ○ DMI ○ ROI(順位相関係数) ○ ROO(変化率) ▼ ■ 下部テクニカルを表示しない	デンプレートを適用
		決定キャンセル 適用	
			99.600
	<u>始1値:100.226 高1値:100.502</u> ◀	安10:39.642 終10:100.360	▶ 100 ▾ ♥■

②【単純移動平均】にチェックが入りました。画面右側の詳細設定項目を確認します。



③初期設定では、【短期】線と【長期】線の2本表示となっています。【中期】線にもチェックを入れます。



▶

④「【長期】線を200日平均にしたい!」場合など、設定数値を変更したい場合は、各詳細線の数値を変更します。 ここでは長期線の設定数値を【200】にします。



⑤線の色や太さも設定することができます。



⑥【高度な設定を表示する】でより細かい設定も可能です。



闘 チャート:USD/JPY テクニカル設定 \times USD/JPY 🚽 5分) 設定 単純移動平均 Δ. 2016/08/1811:00 쾨 下部テクニカル1 2016/08/18 11:00 通常線 ✓ 短期 5 1pt \sim 0 ● 表示しない 通常線 13 🗸 中期 \sim 1pt ○ ストキャスティクス 2 500 ○ RSI(相対力指数) ✓ 長期 200 一点鎖線 1pt \sim 1 ● 乖離率(1.0基準) 115 ■ 高度な設定を表示する サイコロジカルライン 100 O DMI ● RCI(順位相関係数) 8-290 ● ROC(変化率) ₫ O MACD ○ ウイリアムズ%R 200 ◎ アルティメット RVI 00 平均足 下部テクニカル2 -● 表示しない 000 ○ ストキャスティクス ○ RSI(相対力指数) 00 ● 乖離率(1.0基準) ัร サイコロジカルライン ■ 下部テクニカルを表示しない テンプレートを適用 \mathbf{v} 00 キャンセル 決定 適用 99.700 始値:100.226 高値:100.502 安値:99.642 終値:100.272 ▶ 100 👻 💽 🗖

⑦続いて、【下部テクニカル1】の中にある【MACD】にチェックを入れます。

テクニカル指標を表示させるには?

⑧【MACD】にチェックが入りました。画面右側の詳細設定項目に切り替わりますので、設定を変更したい場合は変更してください。



⑨画面下部にある【決定】をクリックします。



⑪チャート上に単純移動平均が下部テクニカルにMACDのテクニカル指標が表示されました。

